

① ジョン J. レイティ、エリック・ヘイガーマン 著、野中香方子 訳

『**脳を鍛えるには運動しかない！：最新科学でわかった脳細胞の増やし方**』

(NHK出版)

本書は、医学博士で、ハーバード大学医学部准教授の著者が、運動することによってどうして神経細胞が増加するのかを解りやすく解説した医学書です。現代人のほとんどが抱えている心の病、不安・うつ・依存症など症状別に10項目あり、その時の脳細胞にどんな変化が起こっているか実際にあった事例を挙げて書かれています。専門用語の解説も付いていて、理科が苦手なひとでも納得できます。そして項目の最後に運動のやり方がアドバイスされていますので、明日からすぐ実践できるうれしい本です。

498.39 ||Rat (N.K.)

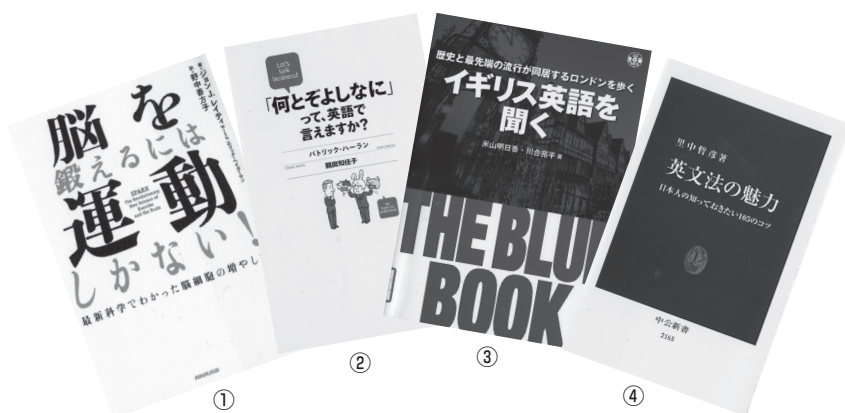
③ 米山明日香、川合亮平 著

『**歴史と最先端の流行が同居する ロンドンを歩く**』

(コスモピア)

巻末のCDを使って、本場イギリスの英語を聞き、楽しく学習する本です。最初にイギリス英語を聞き取るためのコツをアメリカ英語の違いも含めてわかりやすく解説し、選りすぐられたロンドンの名所をUNIT1から10までに分けてそれぞれのUNITに詳しいイギリス人が対談形式で話をしています。それぞれのUNITでは、質問の内容、リスニングのポイント、聞き取りづらい箇所などが簡潔に書かれています。単に英語を学習するだけでなく、イギリスの中心地ロンドンの文化に触れることができるので、これからイギリスへの旅行や留学を考えている人にはお薦めの1冊です。

831.1 ||Yon (S.S.)



② パトリック・ハーラン 鶴田千佳子 著

『**「何とぞよしなに」って、英語で言えますか？ : Let's talk business!**』

(NHK出版)

何とも意地悪な書名です。それもそのはず、本書で扱っているのは「お気持ちだけいただいております」や、「お疲れさまでした」など、日本語独特の表現を英語にしてみようというのですから。これをネイティブと日本人の著者が対話形式で様々な表現を提示してくれます。

学生の立場ではあまり使わない表現かも知れませんが、社会に出ると何かの折に役立つ事があるかも知れません。頭の体操にどうぞ。

670.93 ||Har (T.F.)

④ 里中哲彦 著

『**英文法の魅力：日本人の知っておきたい105のコツ**』

(中央公論新社)

書名を見ると堅苦しい文法書を連想しがちですが、新聞に連載された「英語の質問箱」というコラムに加筆してまとめたものということで、気軽に楽しく読むことができます。内容は文法に限らず、語義や語法、口語や俗語まで取り扱い、各項目が見開き2ページに要領よくまとめられているので、興味本位で面白そうな項目のページをめくっていくうちに、知らず知らずに英語の知識が身につくユニークな本です。

「文法力のある人は、話す必要が生じたときに短期間である程度の会話力を確実に身につけます」という著者の意見には説得力があります。

835 ||Sat (F.O.)